

# 令和元年度

## 第1回大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会会議概要

- 日 時：令和元年8月27日（火） 15：30～17：00
- 場 所：東和薬品 RACTAB ドーム（府立門真スポーツセンター）中会議室
- 出席状況：【委 員】奥村 圭（委員長）、岡澤 祥訓、苅野 真吾、山岡 秀雄、  
小林 幸治  
【事務局】教育庁 保健体育課 首席指導主事 1名、総括主査1名、  
副主査1名、主事2名
  
- 傍 聴 者：0名

1 開 会…事務局が開会宣言

2 あいさつ…大阪府教育庁を代表して保健体育課首席指導主事があいさつ

3 出席確認…大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会規則第5条第2項により、本日は、委員5人の出席であり、過半数以上となっており、本委員会は有効に成立していることを確認。

4 報告事項（委員長：□、委員：▲、事務局：△）

（1）平成30年度各施設決算状況報告

（2）平成30年度モニタリング評価実施結果及び改善のための対応方針の報告

・（1）及び（2）について、事務局各施設担当者から資料に基づいた報告を行う。

<主な質疑応答>

▲：4施設について、災害等に対する損害賠償保険には加入しているのか。加入しているのであれば、加入者は指定管理者なのか、大阪府なのか。

△：公の施設として保険に加入しているはずだが、確認のうえ回答する。

※後日メールにて「大阪府が公益財団法人都道府県センターの建物共済保険に加入している」と回答。

（門真スポーツセンターに関する質疑）

▲：最低賃金が上がっているが、施設が清掃業者などへ支払う委託料は今年も上がるのか。また、それに対する対策は考えているのか。

△：委託料は今年も上がる見込み。人件費が上がるなかでも継続した施設修繕が課題。対策として、今年度の門真スポーツセンターの公募条件に施設への投資実施項目を

追加。また、指定管理期間を10年にした。新しい設備の投資や中長期的な興行に対応し、施設修繕の推進と収支改善に努めていきたい。

(臨海スポーツセンターに関する質疑)

▲：スケートリンクの工事休止期間があるなか、賃貸料がさほど変わっていないのは、理由があるか。

△：スケートリンク休止の影響はあったが、体育館利用を増やすことで補填を行い、400万円の減に留まっている。

▲：トレーニングルームを多目的ルームに変更する予定とのことだが、トレーニングマシンのリースは途中解約したのか。また、追加費用は発生したのか。

△：赤字が発生していたため、リース契約更新のタイミングで継続をしなかった。追加費用等は発生していない。

(漕艇センターに関する質疑)

▲：自主事業収入は予算額130万円だが、実績額は2万円強。乖離の理由はあるか。

△：指定管理者の予算計画に対して、実績額としてこの額になっている。ボート競技の施設のため収益性のある自主事業を打ち出しにくいのが、対応方針に記載のとおり、指定管理者と連携しながら府としても可能な範囲で支援していきたい。

▲：施設整備費が予算額未達。また、H29年の実績額119万円に比べ8万円と大きな乖離がある。修繕や整備すべき事項は先送りにせず修繕できているのか。

△：利用料収入に直結し、かつ利用者からの要望が多いボートの修繕を優先しているのが現状。施設整備を増やすことが課題。対策として今年度から、府と指定管理者で維持補修計画表を共有し、府で対応できる部分は修繕を行っていききたい。施設整備費の乖離については、確認のうえ回答する。

※後日メールにて「H29年は消防設備不良や会議室台所シンク取替、遮光カーテン取替等の不具合が重なり、施設整備費が増となった。H30年は台風21号被害による施設破損があったが、リスク分担上府費で修繕を行い、指定管理者負担の整備費は少額にとどまった」と回答。

## 5 議 事 (委員長：□、委員：▲、事務局：△)

### (1) 平成30年度における利用者満足度調査結果及び対応について

△：今回報告する調査結果は、昨年度の評価委員会で意見を頂いた「施設に対して改善してほしい内容についての自由記述欄」を新たに設けて実施した。選択式アンケート項目による調査結果に加え自由記述欄で記入があった項目についても、施設運営の改善対応案として報告する。

□：承知した。

・事務局各施設担当者から結果集計資料に基づいた報告を行う。

<質疑応答等>

▲：自由記述欄に「和式トイレを洋式トイレにしてほしい」という要望があるが、4施設の洋式トイレの割合はどれほどか。

△：所管の4施設とも、すべてのトイレに対する洋式トイレの割合は5割以下。洋式トイレ化の要望があるのは理解しているが、施設運営や利用者の安全に影響の大きい工事から優先的に行っているのが現状。

▲：臨海スポーツセンターの情報提供の項目について、自由記述欄に記載がないのに不満度が高い。思い当たる節はあるか。

△：自由記述欄に意見がない以上、指定管理者の所感にはなるが、地元の方の利用が多いが、広報等に漠然と不満を持っているのではないか。対策として今年から公式LINEを開始したり、HPのリニューアルをしたり改善を心掛けている。

▲：3施設とも、自由記述項目に対する所管課コメントが「概ね良好」とあるが、どういう基準で評価したのか。

△：利用者からの要望に対して対応可能な範囲で真摯に対応しているため、その評価とした。

▲：漕艇センターが利用者満足度調査対象外である理由はあるのか。

△：ボート競技に特化した施設であるため、評価対象となっていない。なお、施設にはアンケートBOXを置いており、要望があれば対応している。

(2) 令和元年度における大阪府立体育会館等指定管理者の評価方法について

(3) 今後のスケジュールについて

・(2)、(3)は関連性があるため併せて説明

【評価の流れ、方法】

△：今年度も昨年度と同様の流れで、指定管理者の評価を行いたい。

評価の具体的な手法は、公募選定時に府（行政経営課）提示の基準を基に作成した審査基準に対する、指定管理者の履行状況を評価している。また、指定管理者を経年で評価することが望ましいことから、評価基準は引き続き前年度ご確認いただいた評価基準にて評価をさせていただきたい。

<質疑応答等>

▲：特段意見なし

□：評価の流れ、方法について了承する。

【今後のスケジュール】

△：・9月に指定管理者による自己評価。

・10月に指定管理者へのヒアリングを実施。

・12月に第2回評価委員会の開催。

・2月に対応方針策定。

・3月には対応方針及び評価結果を公表。

指定管理者が次期事業計画に内容を盛り込んだうえで作成。

<質疑応答等>

▲：特段意見なし

□：令和元年度大阪府立体育会館等指定管理者の評価方法及び今後のスケジュール

について了承する。

(4) その他

特段の議題なし

6 閉会

事務局が閉会宣言を行う。

参考：第2回大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会は、12月に開催予定。